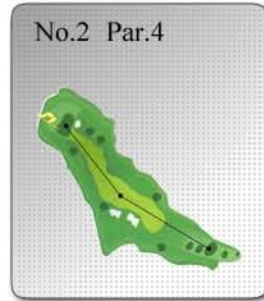


No.1 Par.5

CHAMP 535y  
BACK 517y  
REGULAR 490y  
LADIES 435y

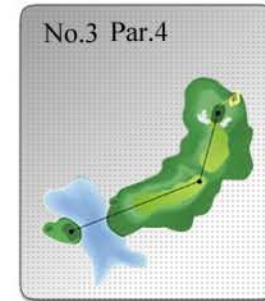
フェアウェイは広く、ティーショット、セカンドショットは伸び伸びと打てるが、グリーンを狙うショットは打ち上げになるので距離感がつかみにくく正確なアプローチが必要とされる。グリーンは右から左に高くなる2段グリーン。春は桜の綺麗なホールです。



No.2 Par.4

CHAMP 449y  
BACK 436y  
REGULAR 410y  
LADIES 366y

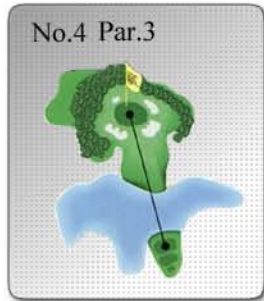
ティーショットは左サイド狙い。グリーンは高低差のある3段グリーンなので、カップ位置次第では3パットの危険が高い。グリーン奥からのアプローチは非常に難しい。



No.3 Par.4

CHAMP 430y  
BACK 405y  
REGULAR 391y  
LADIES 268y

ロイヤルコースの中で、最もタフなホール。左側はグリーンまで浅いOBラインが続く。コース全体にかなりの打ち上げになるので、セカンドショット以降は爪先上がりのライになり、左に行きやすい。無理なショットは避け、確実なバー狙いで。



No.4 Par.3

CHAMP 193y  
BACK 181y  
REGULAR 166y  
LADIES 77y

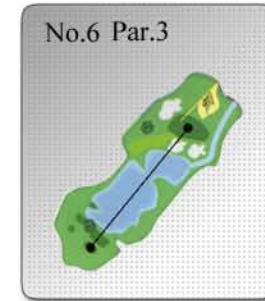
谷越え&若干打ち下ろしの、風の計算が非常に難しいホール。グリーンは砲台で、左右には深いアゴのバンカーがある為、キャリアで攻めたい。



No.5 Par.4

CHAMP 407y  
BACK 385y  
REGULAR 334y  
LADIES 296y

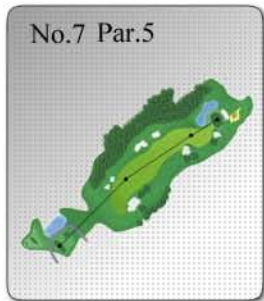
やや右ドッグレッグのミドルホール。フェアウェイ左サイドがティーショットのベストポジション。但し、右サイドのOBを嫌い過ぎると、ボールが左の林の中に消えてしまうこともあり、要注意。グリーン右手前にある段差の高い大きなバンカーに注意。



No.6 Par.3

CHAMP 160y  
BACK 158y  
REGULAR 146y  
LADIES 124y

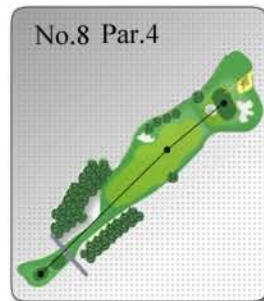
2段池越えの名物ショートホール。方向性はもちろん微妙な距離判断が必要とされる。グリーンは奥から池に向かって早い。



No.7 Par.5

CHAMP 525y  
BACK 505y  
REGULAR 471y  
LADIES 440y

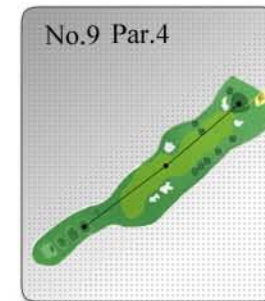
ほぼストレートなロングホール。飛ばし屋なら2オンも狙えるが、グリーン前に池があり要注意。無理をするとボギー、ダボもあるエキサイティングなホール。セカンドショットの落とし場所に平坦な所が少なく、慎重なクラブ選択がカギ。



No.8 Par.4

CHAMP 350y  
BACK 334y  
REGULAR 320y  
LADIES 246y

ティーショットは左右からせり出した林のプレッシャーに注意。奥行き短い横長の2段グリーンは確かな距離感と方向性で球を止めたい。グリーン手前のポットバンカーがプレイヤーを惑わせる。



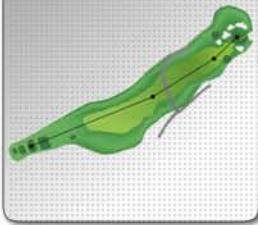
No.9 Par.4

CHAMP 439y  
BACK 417y  
REGULAR 391y  
LADIES 334y

ティーショットは距離を稼ぐなら右サイドバンカー越えから傾斜を使う、安全に攻めるなら左サイドから花道狙い。グリーン手前の左右バンカーは深く、ここに入るとパーセーブは難しい。トーナメント開催時はOUT-INを逆にしてこのホールが最終18番となり、グリーン奥にはギャラリースタンドを設置し、数々のドラマを演出した伝説のホールです。

## ロイヤルコース インコース

No.10 Par.5



CHAMP 547y  
BACK 527y  
REGULAR 512y  
LADIES 444y

フェアウェイは広く伸び伸びと打てるが、ティーショット、セカンドショットはいずれも左目狙いが安全。グリーンは砲台のため、狙うショットは距離感が掴み難い。トーナメント開催時はO.U.T・I.Nを逆にして、チャンピオンティ後ろにギャラリースタンドを設置し、スターティングホールとなり、数多くの名選手を送り出しました。

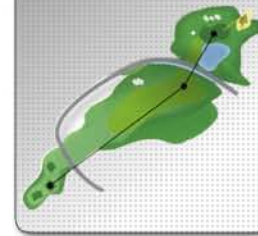
No.11 Par.4



CHAMP 425y  
BACK 404y  
REGULAR 379y  
LADIES 336y

ティーショットは左バンカーの右側狙い。セカンドショットは両サイドにバンカーが口を開けているが、オーバーは禁物。グリーン奥からのアプローチは非常に難しい。グリーンは高低差の大きい2段グリーンのため、正確なパッティングが要求される。

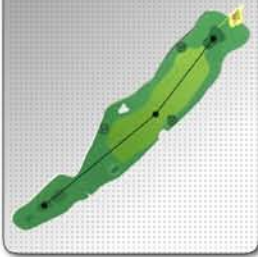
No.12 Par.4



CHAMP 388y  
BACK 367y  
REGULAR 347y  
LADIES 325y

フェアウェイを横切るクリークを避けるため、風向きによってはティーショットでドライバーを使用するか迷う難しいホール。グリーン右サイドの池も、ピン位置によりかなりのプレッシャーがかかる。ハザードはたくさんあるが距離は短く、それほど難易度の高くないホール。'87年の日本オープン2日目、中島常幸プロが7を叩き、1打差で日本オープン三連覇を逃したエピソードも残る。

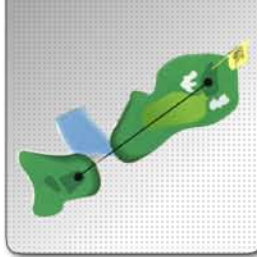
No.13 Par.4



CHAMP 397y  
BACK 367y  
REGULAR 349y  
LADIES 262y

フェアウェイは広々とし、思い切りの良いティーショットが打てる。グリーン周りの小さなコブの多いグラスバンカーは高度なアプローチ技術を要求する。グリーンは縦長で右傾斜しているため、左サイドに外すとパーセーブは難しい。

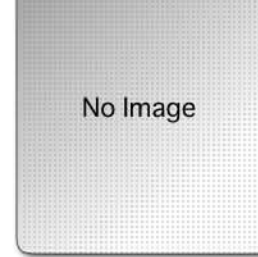
No.14 Par.3



CHAMP 211y  
BACK 199y  
REGULAR 192y  
LADIES 116y

距離があるショートホール。グリーン手前には大きなバンカーが口を開けているため、1オンが難しいホール。

No.15 Par.5



CHAMP 574y  
BACK 564y  
REGULAR 472y  
LADIES 445y

打ち下ろしのロングホール。ロングヒッターならバーディーは狙いたい。グリーン右側の池に注意。セカンドショットで池を意識しすぎると、サードショットは急な左足下がりライになる。

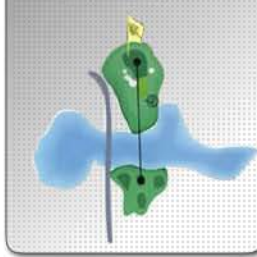
No.16 Par.4



CHAMP 481y  
BACK 426y  
REGULAR 368y  
LADIES 341y

ティーショットは左バンカーの上を狙って思い切り打ちたい。セカンドショット以降は打ち上げで、前上がりライになることが多い。また、グリーン左手前のOBラインは浅く要注意。グリーンは前後で2段になっている為、セカンドショット前にピンポジションの確認が重要。

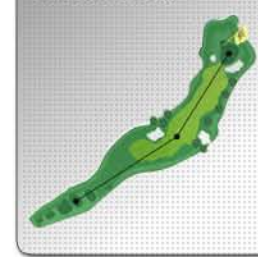
No.17 Par.3



CHAMP 189y  
BACK 169y  
REGULAR 145y  
LADIES 145y

左手前にあるバンカーがグリーン幅を狭く見せるショートホール。またグリーンはアンジュレーションのきつい2段グリーン。谷越えで風向きが変わりやすく、ティーショットのクラブ選びがカギ。秋はティランド付近の紅葉が美しい。

No.18 Par.4



CHAMP 448y  
BACK 433y  
REGULAR 408y  
LADIES 325y

打ち上げの為、実際の距離よりも長く感じるホール。ピンの根元は見えず、グリーン手前のフェアウェイを横切るラフがさらにプレイヤーの距離感を狂わせる。グリーンは奥から傾斜もあり非常に速い。